

2015年夏、楽天株式会社の本社機能が、 二子玉川ライズ・第2期事業のオフィス棟に移転

東京急行電鉄株式会社
東急不動産株式会社

東京急行電鉄株式会社(以下、東急電鉄)と東急不動産株式会社(以下、東急不動産)は、両社が進める二子玉川東第二地区第一種市街地再開発事業(以下、二子玉川ライズ・第2期事業)のオフィス棟「二子玉川ライズ・タワーオフィス」に、2015年8月を目途に、楽天株式会社(以下、楽天)の本社機能が移転することをお知らせします。

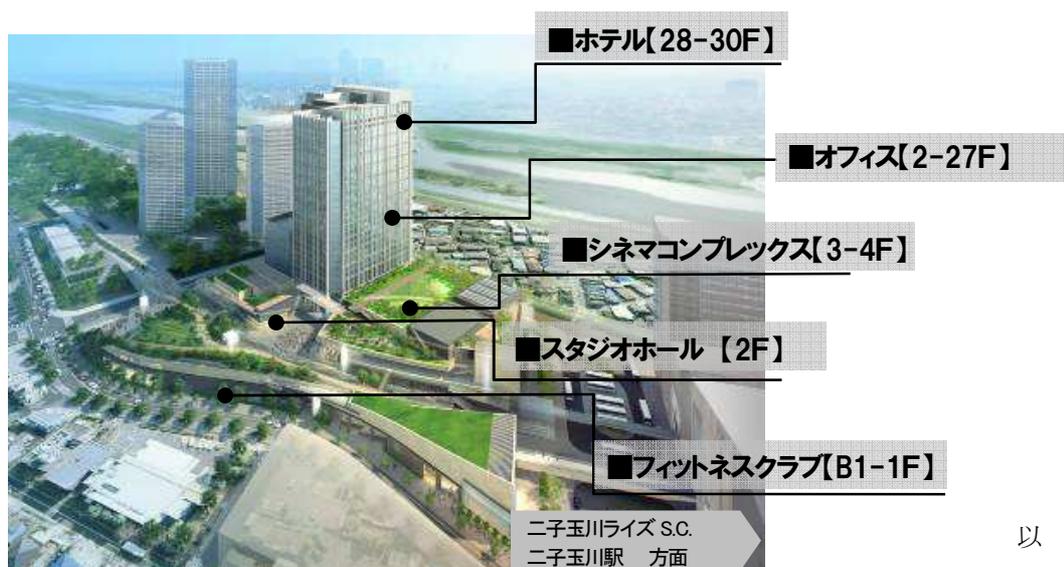
二子玉川は都心から近距離にありながら、多摩川に隣接し自然豊かで開放感あふれる恵まれた街です。これまで東急電鉄が掲げる「日本一働きたい街 二子玉川」をテーマに、人々の交流や創造性あふれる発想によって、新しい価値を社会に提供する「クリエイティブシティ」を目指し、クリエイティブ産業と連携した施策を展開してきました。

2015年春の開業を予定する二子玉川ライズ・第2期事業では、「二子玉川ライズ・タワーオフィス」の上層階にホテル、低層部にシネマコンプレックス、フィットネスクラブ、スタジオホール、商業施設などを計画しており、今後楽天とともに新たなワークスタイルの実現を目指します。

今般の楽天の入居により、東急電鉄と東急不動産が掲げる「住むひと、働くひと、訪れるひと、そこに集う様々な人々が行き交い、ふれあうことで、有機的に広がる新たな関係性と開かれたコミュニティの場の創出する」という二子玉川ライズ・第2期事業のコンセプトの実現に向けて、大きく前進するものと期待します。

記

- ・施設名称 : 二子玉川ライズ・タワーオフィス
- ・住所 : 東京都世田谷区玉川一丁目14番1号
- ・入居フロア : 2階～27階 (オフィスの全フロア)
- ・移転時期 : 2015年8月(予定)

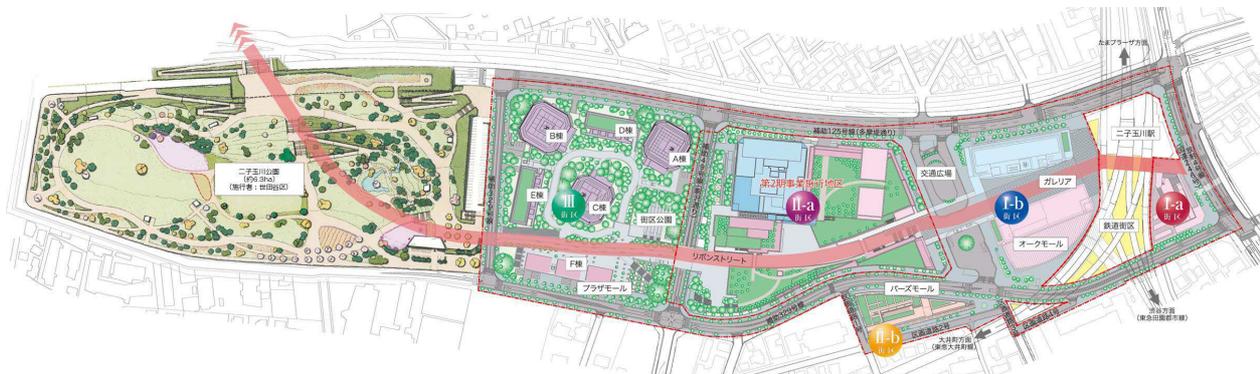


以上

【別紙】

□「二子玉川ライズ」再開発事業の全体計画概要

第2期事業が含まれる「二子玉川ライズ」全体の再開発事業施行地区面積は約11.2haで民間が施行する再開発事業では都内最大級です。そのうち第1期事業(施行面積:約8.1ha)は2011年3月に完成しています。再開発地区は全街区を通じてイギリスのコンラン&パートナーズがデザイン監修を行っています。



※二子玉川公園の図は、世田谷区が策定した(仮称)二子玉川公園基本計画図を、世田谷区の承諾を得て掲載したものです。

□再開発事業の全体計画イメージパース



□第2期事業の計画概要

| | |
|---------------|---|
| 事業名称 | 二子玉川東第二地区第一種市街地再開発事業 |
| 施行者 | 二子玉川東第二地区市街地再開発組合 |
| 施行地区 | 東京都世田谷区玉川一丁目 |
| 施行面積 | 約3.1ha |
| 全延床面積 | 約157,000平方メートル |
| 総事業費 | 約392億円 |
| 建設工事期間 | 2012年1月～2015年4月(予定) |
| 事業コンサルティング | (株)アール・アイ・エー |
| 設計監理 | (株)日建設計、(株)アール・アイ・エー、(株)東急設計コンサルタント |
| 建築外装 | コンラン&パートナーズ |
| ランドスケープデザイン監修 | コンラン&パートナーズ |
| 施工会社 | 鹿島建設(株) |
| 組合公式ホームページ | http://www.futakotamagawa-rise.com |

※上パースは、二子玉川東地区・二子玉川東第二地区市街地再開発組合が2014年1月に発行した冊子に掲載されているものを組合の承諾を得て使用しているものです。なお、二子玉川公園の平面図は、世田谷区が策定した(仮称)二子玉川公園基本計画図を組合が世田谷区の承諾を得て冊子に掲載したものです。二子玉川公園のパースは、同基本計画図のイメージをもとに、再開発組合が作成したものです。

□楽天株式会社 概要

- ・本社所在地 : 東京都品川区東品川4-12-3品川シーサイド楽天タワー
- ・設立年月日 : 1997年2月7日
- ・資本金 : 109,530百万円(2013年12月31日現在)
- ・代表者 : 代表取締役会長兼社長 三木谷浩史
- ・URL : <http://corp.rakuten.co.jp/>

以上